

第4部 くだものの部

(1) ぶどう(ナガノパープル、シャインマスカット) 《 審査日:令和元年9月17、26日 》

①審査所見

52回目を迎えた本コンクールは、種なしで皮ごと食べられる品種を更に推進するため、「ナガノパープル」と「シャインマスカット」を対象に行いました。昨年に引き続き、収穫期にあわせるため各品種を別々で日程で開催しました。

今年のコンクールの出品点数は「ナガノパープル」41点、「シャインマスカット」74点の計115点でした。出品数はそれぞれ昨年並みとなりました。今年は梅雨明けが遅く、生育が遅れていたことや裂果が多かったにもかかわらず、出品数が前年並みであったことは、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力により生産意欲が高まっていることの表れと存じます。

「ナガノパープル」につきまして、出品された果房の多くは、ややゆるめの握り房を意識し、30粒程度に摘粒されていましたが、一部に、粒の肥大のばらつきが大きい房が見られました。第二次審査に進んだ20点の平均1粒重は16.5g、平均糖度は20.2%と高く、食味は良好でした。1粒重は13g～20gと幅があり、粒肥大が良好な房は果粒数を減らして目標果房重に調整している果房も見られました。全体的に樹齢が進んだことにより、果粒肥大が旺盛となっており、房づくりに苦労されている様子が伺われます。着色はおおむね良好でした。果粒の揃いは出品物による差が大きくなったように感じられました。

「シャインマスカット」については、目標の重量に達しない出品物が見られました。正味重量については出荷時も基本となる項目ですので必ず確認をお願いします。房型は、房長が長く、肩のまとまりも悪い房、房の下部の摘粒が不十分な房、粒が内側に入り込んでいる房が目立ちました。例年と比べて房型のばらつきがやや目立ちました。着色については、4房の着色の揃いを重点的に審査しました。4房のばらつきだけでなく、房の上部と下部でのばらつきが見られましたが、その中で、上位入賞の出品物は、1房内、房同士の着色が揃っていました。第二次審査に進んだ16点の平均1粒重は14.9g、平均糖度は19.3%でした。上位入賞されたものは、房形、着色、果粒肥大、食味などが総合的に優れており、房型が模範となるぶどうに仕上がっていました。関係者による指導の賜物と拝察いたします。

ぶどう産業は品種構成が大きく変わる時期にあり、産地間競争の激化も見られています。本県として統一的な品質向上が図られるよう関係各位のご協力を賜りますことをお願いするとともに、各産地がますます発展されることをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

ナガノパープル

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	上野好太郎	須 坂 市
長野県知事賞	伊藤俊幸	小 布 施 町
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	北村智洋	坂 城 町
	坂本正雄	須 坂 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	千葉 功	小 布 施 町
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	三村健祐	松 本 市
	吉池浩幸	須 坂 市
一般財団法人長野県果樹研究会会長賞	飯塚芳幸	上 田 市

シャインマスカット

区 分	氏 名	市 町 村
生産局長賞	関 良祐	中 野 市
長野県知事賞	加藤朋幸	飯 田 市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	湯野澤宏健	須 坂 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	藤沢公次	須 坂 市
	小林潤一	上 田 市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	牧 壮一	須 坂 市
一般財団法人長野県果樹研究会会長賞	北村智洋	坂 城 町
	山寄三和	高 山 村